

市議会だより



議会報告会の様子
(令和元年11月17日 雪沢分館)

令和元年12月定例会(会期 11月26日～12月12日)

主な議案等の審議結果	▶ 2
一般質問	▶ 5
行政視察の受け入れ状況	▶ 12
議会報告会の結果報告	▶ 13
私もひ・と・こ・と	▶ 14

主な議案等の審議結果

令和元年
12月定例会

令和元年12月定例会は、11月26日から12月12日までの17日間の会期で開催されました。

市長提出議案は、条例案15件、単行案8件、予算案12件、人事案3件の合計38件でした。ここでは審議の結果の主なものをお知らせします。



条例案

原案可決

- ・ 大館市公の施設の指定管理者の指定の手續等を定める条例の一部を改正する条例案
 - ・ 大館市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例案
 - ・ 大館市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案
 - ・ 大館市軽費老人ホームに関する条例の一部を改正する条例案
 - ・ 大館市公設総合地方卸売市場条例の一部を改正する条例案
 - ・ 大館市下水道条例の一部を改正する条例案
- 他9件

単行案

原案可決

- ・ 議決内容の一部変更について（旧正札竹村本館棟解体工事）
 - ・ 大館市斎場及び大館市ペット霊園の指定管理者の指定について
 - ・ 市道路線の認定について（清水2丁目1号線外1路線）
 - ・ 大館クリーンセンター基幹的設備改良工事・運営事業の特定事業契約の締結について
- 他4件

予算案

原案可決

令和元年度大館市一般会計補正予算（第3号）案

<主な事業>

- | | |
|-----------------------|---------|
| ・ ふるさと応援寄附推進事業費追加 | 2億478万円 |
| ・ 田代総合支所空調設備更新工事費 | 3,146万円 |
| ・ 待機児童解消・在宅子育て応援事業費追加 | 240万円 |
| ・ 大館能代空港運賃助成事業費追加 | 700万円 |
| ・ 小学校教科用図書購入費 | 2,843万円 |

以上を含め、歳入歳出予算補正額 3億4,728万2,000円

原案可決

- ・ 令和元年度大館市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案
- ・ 令和元年度大館市都市計画事業特別会計補正予算（第2号）案

他9件

12月定例会に提出された請願・陳情

採 択

【陳 情】

- ・ 深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退など、地方における公立・公的病院の置かれている医療事情の状況把握を欠いたまま、国の基準に基づく一方的な再編・統合は行わないことを求める意見書の提出要請について

継続審査

【請 願】

- ・ 地域医療を守り、公立病院等の維持・存続を求める意見書の提出要請について

【陳 情】

- ・ 医師養成定員を減らす政府方針の見直しを求める意見書の提出要請について
- ・ 介護従事者の全国を適用地域とした特定最低賃金の新設に関する意見書の提出要請について
- ・ ケアプラン有料化などの制度見直しの中止、介護従事者の大幅な処遇改善、介護保険の抜本的改善を求める意見書の提出要請について
- ・ 若い人も高齢者も安心できる年金制度の実現を求める意見書の提出要請について
- ・ 安心して暮らせる社会の実現のため、社会保障制度の拡充を求める意見書の提出要請について

継続審査となっていた請願・陳情

不採択

【陳情】

- ・ 消費税率10%への引き上げ中止を求める意見書の提出要請について

取り下げの承認

【陳情】

- ・ デフレを促進する政策の見直しと内需主導型政策への転換を求める陳情

継続審査

【請願】

- ・ 秋田犬会館の改修工事への助成について

【陳情】

- ・ 辺野古新基地建設の中止と、普天間基地の沖縄県外、国外への移転を民主主義及び日本国憲法に基づき公正に解決させるよう求める意見書の提出要請について
- ・ 「沖縄県民は先住民族」との国連の勧告を撤回させることを求める意見書の提出要請について
- ・ 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進するよう求める意見書の提出要請について
- ・ 臓器移植の環境整備を求める意見書の提出要請について
- ・ 新たな過疎対策法の制定に関する意見書の提出要請について
- ・ 秋田市新屋への地上イージス配備の反対を求める陳情

意見書の提出

● 西十和田トンネルの早期建設を求める意見書

《提出先》 秋田県知事、青森県知事

● 深刻な医師不足、高齢化の進行、公共交通機関の衰退など、地方における公立・公的病院の置かれている医療事情の状況把握を欠いたまま、国の基準に基づく一方的な再編・統合は行わないことを求める意見書

《提出先》 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣

地域医療を守り、進展させるため 扇田病院を存続し改築も検討を

吉原 よしむら
正議員（市民の風）
ただし



〔問〕 厚労省の再編・統合の議論を促す病院名の公表には、地方の実情を考慮していないなど批判が続出しているが、市長の見解は。

〔市長〕 「扇田病院は決してなくさない、存続させる」。県の地域医療構想調整会議の中で、次の世代にふさわしい医療を真剣に考える。

〔問〕 訪問診療・訪問看護等在宅医療を進める扇田病院の役割は大きく、この特色を発展させるべき。

〔病院事業管理者〕 地域包括ケアを担う病院として重要であり、特色を生かしながら安定経営を目指す。

〔問〕 経営は健闘しているが施設の老朽化が課題。改築の展望は。

〔病院事業管理者〕 老朽化は十分承知している。現在、将来の人口減少や医療需要を踏まえ、適正な病床数、病床機能を検討している。

市農業の前進に向けて

〔問〕 農地の集積が進んでいるがこれにより農家の規模がどのように変化しているか。

〔市長〕 1ヘクタールから5ヘクタール未満の農家数が多く減少しており、集積に当たっての「出し手」となっている。課題である中山間地域での集積と担い手の確保にJ Aと協力して取り組む。

〔問〕 大館の特産物生産に農家が誇りを持つよう、特に販売戦略に力を入れるべき。

〔市長〕 官民の多様なPR活動や自身のトップセールスによる販路拡大と農業所得の向上に向けた取り組みを一層強化する。

〔問〕 スマート農業（人口知能・ドローン・情報通信技術）は、生産現場のさまざまな課題を大きく変える可能性がある。研究と導入に積極的に取り組むべき。

〔市長〕 私も全く同感である。総合戦略に普及と浸透を掲げ推進する。省力化や高品質化が図られることから、高齢化や労働力不足が問題となっている農家への導入が加速すると考える。認定農業者などのニーズの把握に努め、国・県と連携して進める。

一般質問の全文は、3月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

一般質問

市長の政治姿勢について

田村 たむら
儀光 議員（令和会）
のりみつ



〔問〕 市長就任はや5年、振り返れば「大館を変える」を旗印に、いろいろな施策に本当に全力で頑張ってきたと評価している。5年目の本年、市政方針「外に強く、内に優しい」について、そろそろ「外」より「内」に目を向けてほしいという市民の多くの声に耳を傾けるべき時と思うが、市長の考えは。

〔市長〕 「外に強く、内に優しい」とは、現在進めている市政の方向性を示すものである。「外に強い」施策とは、活発な企業活動の誘発や農業生産基盤の整備、地域資源の磨き上げ、物流体制の確立、賑わいの創出、連携の強化などであり、これらさまざまな施策を重層的に進め「稼ぐ力」を強めた先にあるのが「内に優しい」である。「内に優しい」施策とは、次代を担う子供たちや若者、女性や高齢者、障害者などさまざまな立場のあらゆる世代の方々にとっ

て安全で安心な、そして、快適で快適な暮らしを支えるサービスの提供を通じた「暮らしづくり」である。「稼ぐ力」で得た恵みを「暮らしづくり」に還元し、「暮らしづくり」で育まれた活力を「稼ぐ力」に還元させ、好循環を生み出すことこそが、「外に強く、内に優しい」の根幹である。第2期福原市政では、この2つを車の両輪として、ふるさと秋田我が大館をしっかりと前に進めていく。

敬老事業について

〔問〕 参加率が低く、予算2400万円の内訳を見ると、各地域ではらばらで平等性がなく、各地域と相談し見直しを考えるべきと思うが市長の考えは。

〔市長〕 参加率は決して高くはないが、全体で3000人以上が参加している大事業である。市では毎年敬老会終了後に婦人会や町内会と反省会を開催し、いただいた御意見を参考にしながら見直しを図っている。今後より多くの方に喜んで参加していただけるよう見直しを図って取り組んでいく。

旧正札竹村跡地の開発計画と ハチ公小径の現状をどう考えているのか

柳館 やなぎだて
晃 こう 議員（令和会）



〔問〕 旧正札竹村跡地の開発にはさまざまな意見があり、検討することが多々あると思うが、何より周辺住民の利便を第一に地域のニーズを調査・研究の上での開発を望む。ハチ公小径も旧正札跡地開発の一部と捉え、早急な改善をするべき。

〔市長〕 おおまちハチ公通りは400年の歴史を紡ぐ羽州街道そのものであり、大館を代表する四季折々のお祭りが古来から営まれていた重要な舞台であり、大町地区は高度利用が可能な商業地域であることから、経営のノウハウにたけた民間事業者による再整備に期待している。大町商店街振興組合を中心に跡地利用やハチ公小径の利活用を通じ「まち再生」に向け多様な観点から取り組んでいただいている。

〔問〕 路線バスでカバーできない区間に対処するため、コミュニティ

バス、自動運転車両等の導入を考えてみてはどうか。まずは高齢化が進み運転免許返納者がふえる状況下、既存の交通機関に加え、新たな公共交通機関の導入は必要と考える。旧正札竹村跡地の開発とあわせ、周辺地区の利便性向上のため公共交通網の整備は切り離せないものと考え

〔市長〕 人口減少や少子高齢化が進む状況下において、「公共交通と連携した、利便性が高く安心して住み続けられる環境づくり」を目指し取り組んでいる。持続可能な公共交通政策を進める上では、基軸となる幹線ルートは路線バスで、その先は多様な交通手段で補完することが基本的な考えであると認識している。

〔問〕 大館版CCRCについて。現在の状況はどうなっているのか。また、この先どのような方向づけをしていくのか。おためし移住等、官民一体となった取り組みをしてはどうか。

〔市長〕 大館版CCRCとして、平成29年度に「地域と人が多彩に輝く「おおだて暮らしを楽しむ」基本計画」を策定し、「地域の仲間づくり」「しごとづくりの仲間づくり」仲間をつなぐ仕組み」を基本に全庁体制でさまざまな施策を展開している。

大館市議会

検索

クリック

一般質問

「SDGs※未来都市」について

齊藤 さいとう
則幸 のりゆき 議員（公明党）



〔問〕 「SDGs※未来都市」の宣言を目指してはどうか。

〔市長〕 市では、SDGsの重要性を庁内で共有し、その理念を取り入れながら、環境負荷の低減や貧困連鎖の解消に向けた取り組みのほか、広域での汚泥の資源化などにも取り組んでいる。

討している。市と議会に相談しながら役割を具体化し地域に必要な医療の提供に努めていく。

多言語対応の通訳サービスの導入について

〔問〕 市役所の窓口や公共施設、消防本部などに、多言語対応の通訳サービスを導入できないか。

〔市長〕 今後の取り組みとして、119番通報の際、電話通訳センターを介して会話できる同時通訳サービスの導入を検討している。さらに、本市で暮らし、また、本市を訪れる外国人が必要とするサービスをさまざまな場面で提供するため、飲食店や宿泊施設のメニュー表記の多言語化などを促進していく。

防災重点ため池の管理について

〔問〕 現在、防災重点ため池の管理はどうなっているか。

〔市長〕 来年度以降、市内にある全ての防災重点ため池のハザードマップを作成する。作成後は地区住民に周知し、啓発に取り組んでいく。

〔問〕 病院の再編について。扇田病院は地域医療の重要性を考えると必要な病院である。時間をかけて慎重に議論すべき。

〔病院事業管理者〕 扇田病院は地域の高齢者医療のかなめであり、地域包括を担う医療を提供しているが、今後の人口減少や医療ニーズの動向を踏まえると現状を維持するのは困難。現在、扇田病院では今後の適切な病床数や病床機能の転換などを検

※SDGs…Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。2015年9月の国連サミットで採択されたもので、国連加盟国193カ国が2016年から2030年までの15年間で達成するために掲げた目標。

市のためには、売買価格1億2千万円の『旧雪沢小学校』を1千200万円で売らずに年745万円で貸し続けるべきでないか

佐藤 芳忠 議員（市民の風）



〔問〕平成29年4月から一年ほどで、旧雪沢小学校は全て、今回売却予定の一企業に貸し付けられました。もし市が企業に譲渡しなければ、市には令和2年度からは年521万、令和3年度からは年745万円の貸付料が入ってきていたものです。521万円の貸付料を払わなくてはならなくなる8ヶ月前の令和元年8月、一企業から1万7千㎡の学校用地と校舎の減額譲渡等申請書が市に提出され、市は10月に売買価格1億2千万円の旧雪沢小学校を9割減額し1200万円で譲渡することにしました。

〔市長〕 今回の譲渡は申請者が施設を更に有効活用することを目的に申請されたものであり、条例に基づき譲渡するものです。減額率につきましても雇用者数、地域貢献度等を評価し条例等に則するものです。本件では建物及び土地の全てを有効に利用しており、条例等にとつて譲渡することとしたものです。旧雪沢小の減額譲渡は条例の目的と総合管理計画に合致するものであり、経費削減や固定資産税等の収入の確保に繋がることから条例の目的に合致するものと考えています。

一般質問

一般質問の全文は、3月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

山瀬ダム周辺、平滝地区の携帯電話の不通解消を

田村 秀雄 議員（市民の風）



〔問〕山瀬ダム周辺、平滝地区の携帯電話が不通のため解消を。

〔市長〕 2018年度に通信事業者1社から参画の意思表示があったことから、五色湖ロτζ裏手に基地局を整備し、8月5日から使用可能。平滝地区は来年度の事業化に向けて準備を進めている。

〔問〕旧岩野目小学校の活用を。

〔市長〕 地元からの利用希望がなかったため、文部科学省のホームページに旧大葛小学校とともに掲載し、全国に情報発信しながら事業者を募集している。問い合わせや視察はあったが契約には至っていない。

〔問〕岩野目地区の道路舗装が傷んでいるが。

〔市長〕 市道早口線は大型車の通行量が多く、路盤を強化する工法で補修を順次進めている。来年度に予定している中仕田集落内の補修が完了した後に実施する計画である。

〔問〕合併後の田代地域の衰退をどう見るか。

〔市長〕 早口小学校の徒渡り、山田地区のマイタケオーナー制度、十ノ瀬藤の郷など活力にあふれていると確信している。官民協働で地域の盛り上げに尽力する。

〔問〕台風19号による被害と防災の教訓として大館の防災対策は。ハザードマップの見直しなどは。

〔市長〕 東日本大震災を踏まえた地震対策の強化、大規模広域災害時の被害者対策等の強化、平成25年8月9日の豪雨災害及び9月16日の台風18号災害を踏まえた防災対策及び教訓を3つの柱として大館市地域防災計画を策定している。防災マップは1000年に1回程度の大雨、24時間総雨量254ミリと、想定し得る最大規模の大雨を前提とし、作成を進めている。

〔問〕ペットと泊まれる五色湖ロτζの活用について。

〔市長〕 パンフレットの作成やWiFiの導入、ユップラからの食事のテイクアウトなど利便性の向上に努めている。リニューアル後の利用者数は順調に伸びている。

深刻化する災害について

佐藤 眞平 議員 (令和会)



ル」の説明やさまざまな防災啓発事項を網羅し全戸配布する。

〔問〕 防災マップについて、今回の見直しの根拠は。

〔市長〕 国・県が公表した米代川、長木川、下内川の洪水浸水想定区域図をもとに1000年に1回程度の大雨、24時間総雨量254ミリと想定し得る最大規模の大雨を前提としている。

公共交通について

〔問〕 「NPO法人おおだて福祉ねっと」について、田代地域で昨年12月に設立認定を受け、ことし4月からの運行が期待されていたが、いまだ実現に至っていない。地域の要望にこたえるべく支援をお願いする。

〔市長〕 市は、法人の立ち上げ等、県とともに積極的に支援している。現在、運行に向けた詳細について検討しているが、法制度や路線バスとの役割分担の課題があり、生みの苦しみの状況と捉えている。NPO法人を初め地域と協力しながら安心して暮らせる仕組みづくりの実現に引き続き取り組んでいく。

〔問〕 避難勧告、避難指示について、市民の「警戒レベル4」に対する認知度が低く、受け取り方によっては、まだ避難しなくてもよいと判断する市民がいる。自治体において的確な判断が求められるが。

〔市長〕 本年6月から避難の判断を容易にし、住民の避難行動を着実に支援するため、防災情報を5段階の「警戒レベル」で示し、市町村が避難勧告等を発令する際には、レベル3が高齢者等避難、レベル4が全員避難と明確になっている。

〔問〕 警戒レベルの周知・発信について、災害時に市民が安全で素早い行動をとるために「警戒レベル」を認識する必要がある。

〔市長〕 避難にまさる防災はない。市民一人一人が自分の住む場所の水害や土砂災害の危険度を把握し、自発的に行動するためにも「警戒レベ

大館市議会

検索

クリック

一般質問

先人顕彰を観光の軸に

佐々木 公司 議員 (令和会)



〔問〕 市民公開講座や市民劇場定期公演で鳥潟小三吉が取り上げられた。本市出身の先人・偉人を観光の軸にしているか。

〔市長〕 民間団体や関係部局の枠を超えた横断的な取り組みを展開している。

〔問〕 来年1月のわらび座大館公演「あきたいぬになりたくて」の対応は。

〔市長〕 子どもハローワークや放課後児童クラブ等呼びかけている。

激甚化する

自然災害への対応について

〔問〕 各地で発生した自然災害の対応と教訓、そして、防災・減災の取り組みは万全か。

〔市長〕 大規模災害が発生しても人命を守り、社会の重要な機能が致命的障害を受けず、被害を迅速に回復できるよう国土強靱化地域計画を策定した。今後も県と連携しながら防災・減災を進めていく。

県内病院の再編について

〔問〕 扇田病院の存続、急性期医療のあり方、高度救急医療への対応は。

〔病院事業管理者〕 心臓カテーテル治療ができる体制の整備を含め、高度な専門的診療機能を備えた地域救急救命センター設置を目指し、急性期医療機能の向上を図っていく。

大館市子どもまつりについて

〔問〕 「子どもまつり・郷土芸能と生活文化の体験」に参加し本市の伝統芸能を満喫したが、子供たちの姿が少なく残念だった。周知の取り組みは。

〔教育長〕 さまざまな方法で小・中学生の親子参加を募ったが、子供たちの参加は30名程度だった。他の行事や大会と重なったことが要因の一つである。今後、参加者をふやす環境づくりに努めたい。

健康寿命を延ばす取り組みを

〔問〕 「フレイル」対策の取り組みは。

〔市長〕 要介護に至る前の状態「フレイル」になることを防ぐ対策として「健康☆粋いき人財育成講座」や健康教室を開催するなど、生きがいづくりや閉じこもり予防、社会的孤立感の解消に取り組んでいる。

本市へのイノシシ出没について

あかし
明石 宏康 議員 (市民の風)



〔問〕 ことしになり急増しているイノシシの目撃情報。いまだ豚コレラなどの被害こそないが、稲の踏み倒しなど被害も出始めている。電気柵など対策のない畑では、この先大変な被害を受けるリスクを否定できない。猟友会による捕獲・駆除は最後の手段だ。まずは人命と農作物を守るため市内にイノシシが現れていることを周知すべき。

〔市長〕 今年度は、比内地域を中心に目撃が3件(7頭)寄せられ、過去最多となった。熊同様に危険であることから広報などを通じて危険性を周知していく。農作物被害への対応策としては、県や猟友会、JAなどの関係機関や自治会と情報を共有しながら緩衝帯整備の推進や残飯等の誘引物撤去などに努める。

イギリス・アシヨアについて

〔問〕 候補地と選定された住宅地に近い演習場に配備することへの賛否の議論、他国からの弾道ミサイルを迎撃するシステムの必要性への賛否の議論、この2つの議論が錯綜して混乱する現状を憂う。現在、他の候補地に挙げられている場所には当市からほど近い地域もあり、対岸の火事の議論ではない。このシステムが配備されなければ安心して暮らせるといふ考え方は危険だ。密入国や漂着船、軍人の乗る漁船による違法操業など、本県の安全は数十年前から脅かされている。有事の際に県民・市民を守る「備えの議論」は今以上にあってよい。

〔市長〕 2つの議論は切り離して進めるべきとの考えには賛成だ。新屋演習場への配備については私が賛否を示すものではないが、迎撃システムについては必要性を感じている。私自身、市民の問いに対して説明責任を果たせるよう、防衛省の再調査結果をきちんと検証していく。

一般質問

一般質問の全文は、3月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

扇田病院の存続について

そうま
相馬 エミ子 議員 (市民の風)



〔問〕 去る9月、厚生労働省は全国1455の公立、公的病院のうち、診療実績が乏しいと判断した424の病院名を公表した。秋田県内では5つの病院が挙げられており、その中に扇田病院が含まれている。これをどのように受けとめているのか。

〔市長〕 さきの国の公表を受け、地域医療への関心が一段と高まっている。扇田病院は地域に密着した医療を提供し、重要な役割を担っている。他の医療機関との役割分担や機能分化など、医療圏全体としての必要な医療体制が確保されるよう地域医療構想調整会議等に意見を述べていく。

〔問〕 築36年を経過し老朽化が進んでいる。また、米代川沿いにあるため、水害の危険性が危惧される。移転や新築を議論すべき。

〔市長〕 場所を含め、扇田病院のあり方を検討したい。

イギリス・アシヨアに反対を

〔問〕 秋田市新屋地区への配備については、地元の反対機運が高まるにつれ、県内11市町村の議会が設置に反対する請願を採択し、大館市議会の動向が注目されている。イギリス・アシヨアの新屋地区配備に対し、市長も反対の姿勢を示すべきではないか。

〔市長〕 佐竹知事や秋田市長が最前線で尽力されている状況において、私が賛否を示す立場にはないと考える。

〔問〕 学校や公園の遊具が撤去された後の設置計画は。

〔市長〕 各学校等の要望を精査し、来年度以降新設する。また、公園の遊具は平成30年度から5カ年計画で更新を進めている。また、庁内横断的なワーキンググループを立ち上げ、包括的な管理を検討する。

〔問〕 下川沿駅トイレの水洗化を。
〔市長〕 川口地区の公共下水道工事の進捗に合わせ、水洗化についてJR東日本秋田支社と実施に向けた協議を進めていく。

扇田病院の再編・統合はあり得ない 断固守り抜く決意を市民に示すこと

ささじま
あいちこ
笹島 愛子 議員（日本共産党）



認識している。今後、さまざまな機会を捉え、必要とされる医療体制が確保されるようしっかりと意見を述べていく。

通学路の危険箇所対策は緊急課題 スピードアップして実施すること

〔問〕 「大館市通学路安全推進会議」が開かれ、さまざまな意見や計画が出されたとのことであるが、挙げられた箇所については、とにかく早目早目の対応をするべき。何かあってからではなく、未然に防ぐための対策をとるべき。

〔市長〕 今年度の合同点検は、県のほか、校長会、防犯協会、警察、スクールガード・リーダーに参加していただき実施した。さらに「ツキノワグマ出没緊急点検」を矢立小学校や北陽中学校など5校を対象に学校周辺を点検し、改善策の協議を進めている。また、夜間における安全確保や犯罪を防止するためには、一定の明るさを保つことが効果的であることから、策定中の総合計画後期基本計画に集落間の防犯灯整備を盛り込み、通学路のさらなる安全確保を図っていくこととしている。

〔問〕 国は、全国の公立・公的病院の再編・統合を検討し、令和2年9月までに結論を出すようにと、424の病院名を挙げて公表した。その中には扇田病院も入っており、私も驚きと同時に大きな怒りが沸き上がったが、比内地域の皆さんにはさらに大きな不安が広がっている。この突然の公表に各自治体、病院関係者からは大きな批判が上がっている旨の報道が相次いだ。大事な扇田病院は何としても守り抜く考えを市民に示し、安心してもらうためにも他の自治体のように国には厳しく抗議するべきだ。

〔市長〕 国は、各医療機関の急性期医療に着目し、その診療実績が特に少ない病院を選定したもので、扇田病院もその一つに挙げられたが、あくまでも再検証を促されたもので、統廃合を求められたものではないと

一般質問

大館市議会

検索

クリック

第2期子ども・子育て 支援事業計画について

はなおか
ゆういち
花岡 有一 議員（令和会）



知し、マイナンバーカードの普及率を向上させるべき

〔市長〕 マイナンバーカードは、写真付きの公的身分証明書となるほか、税の電子申告や住民票などのコンビニ交付にも利用でき、今後は、ポイント還元事業や健康保険証としての使用など、さまざまな分野での用途の拡大が予定されている。市では、マイナンバーカード申請キャンペーンを展開し、職員が無料の写真撮影と申請手続をサポートしている。令和2年1月からは、専任職員を配置し取得を推進していく。

除雪・排雪について

〔問〕 間口除雪をしなくともよい
丁寧な除雪はできないか

〔市長〕 除雪作業に際しては、間口や横断歩道などにできるだけ雪を残さない丁寧な除雪を行うよう強く指導するとともに、雪寄せ場の確保に努めていく。交差点に雪が堆積しないよう業者間で調整し、随時状況を確認しながら定期的な排雪作業を行い、事故防止に努めていく。

マイナンバーカードについて

〔問〕 写真付きのマイナンバー
カードは身分証明書になることを周

林業政策の充実・強化について

岩本 裕司 議員（市民の風）
いわもと ゆうじ



〔問〕 林業政策の充実・強化、林業成長産業化地域創出モデル事業、〔仮称〕大館森林経営公社」等の独立機関の設立と大館市森林整備事業で間伐が行われた森林の集積化について

〔市長〕 林業の成長産業化を政策の柱に据え、林業を軸とした地域産業の成長の実現に向けた取り組みの推進を第2期総合戦略で策定中である。地域林政アドバイザーや森林組合を退職された方を雇用するなど、専門知識を有する人材の確保、育成に取り組み、事業の推移を見極めながら独立機関の設立を検討する。大館市森林整備事業を利用された方であれば、集積化には協力が得られると考える。

犬の動物園と
保護収容施設の設置について

〔問〕 「秋田犬のまち大館」として宣伝・標榜していることから、動物に優しい大館をつくるために保護収容施設をつくり、ドッグランと犬舎を併設して観光客との触れ合いをふやしてはどうか。

〔市長〕 「秋田犬のふるさと」を標榜する以上、当然取り組んでいかなければならない課題である。既存施設を活用して犬と触れ合える環境を整備するとともに、人と犬とのつながりを通じて、動物愛護に関する啓発活動に取り組んでいきたい。

ヘルスツーリズム認証取得と
小坂鉄道跡地の整備について

〔問〕 心身を癒やし、健康保持・回復・増進のため、ガストロノミーウォーキングとの組み合わせでさらなる効果が期待できるのではないか。

〔市長〕 健康のためのプログラムの設定などさまざまな角度から検討する必要があると考える。ガストロノミーウォーキングは、線路を歩くという通常では体験できないメニューが魅力で、犬と一緒に歩くことも検討していきたい。

一般質問

一般質問の全文は、3月中に市のホームページへ掲載する会議録でご覧いただけます。

～中国上海市閔行区・政治協商委員会と 地方議会制度について意見交換～

中国上海市閔行区・政治協商委員会の祝学軍主席を代表とする一行6人が本市を訪れ、小畑議長、小棚木副議長、名村副市長らと市議会の役割や活動内容などについて意見交換を行いました。その後、秋田犬の里や秋田犬会館を視察しました。



意見交換会の様子（令和元年12月16日）



行政視察の受け入れ状況（令和元年度）

毎年、本市には全国各地の市議会等から市の各種施設や行政の取り組み状況について視察依頼があり、12月16日現在73人を受け入れています。

視察日	自治体名	委員会・会派	議員人数	調査事項
7月3日	兵庫県たつの市	清風クラブ・創政会	7人	民間事業者による空き公共施設の有効活用について
7月22日	滋賀県甲賀市	凜風会・無所属	10人	学力向上の取り組みについて
7月23日	岡山県	総務委員会	10人	サテライトオフィス体験事業による地域振興について
7月24日	東京都府中市	総務委員会	8人	空き公共施設の利用促進について
7月31日	秋田県	総務企画委員会	7人	ハチ公と歴史に触れる交流人口拡大プロジェクトについて
10月3日	大分県杵築市	総務常任委員会	6人	民間事業者による空き公共施設の有効活用について
10月23日	埼玉県加須市	民生教育常任委員会	8人	ふるさとキャリア教育について
10月30日	岡山県真庭市	森真会	4人	ふるさとキャリア教育について、大館教育ブランド「OKB48」について
11月14日	大阪府守口市	福祉教育委員会	7人	学力向上の取り組みについて
12月16日	中国上海市	閔行区・政治協商委員会	6人	地方議会制度について



視察の様子（令和元年11月14日 大阪府守口市）

令和元年 議会報告会の結果報告

市民の皆様には多数のご参加をいただき、まことにありがとうございました。意見交換の場でいただいた貴重なご意見やご提言につきましては、今後の議会活動に生かしてまいりたいと考えております。なお、紙面の都合上、ご意見・ご要望等の全てを掲載することはできませんでしたので、何とぞご了承ください。

また、市に対するご要望等につきましては、市当局からの回答をとりまとめ次第、次号の議会だよりでご報告いたします。



<議会報告会の様子>

開催日・参加人数	
● 11月14日(木)	北地区コミュニティセンター 二井田公民館 2人 8人
● 11月15日(金)	田代公民館 上川治公民館 2人 4人
● 11月16日(土)	比内公民館 城西小学校体育館 8人 5人
● 11月17日(日)	中央公民館 雪沢分館 12人 7人

市への意見・要望など

- ◆ 正札竹村跡地の活用はどのようなのか。子供が集える場としてはどうか。
- ◆ 大町の活性化を何とかしてほしい。
- ◆ 南小学校などの遊具施設が使用禁止のままになっているがどうか。
- ◆ 秋田犬ばかりではなく、農業や林業にも力を入れてほしい。
- ◆ 扇田病院の存続について市としてアクションを起こしてほしい。また、病院バスは市民の足としても重要である。
- ◆ 老朽化した橋が心配である。
- ◆ 扇田ふれあい公園の荒れ方がひどい。
- ◆ 高齢者のひきこもりが一番の課題である。具体的な対策をしっかりと検討してほしい。
- ◆ 除雪について、家の前に雪の塊を置いていけないしてほしい。
- ◆ 空き家対策はどのようになっているか。調査はしているようだが進んでいない。
- ◆ 城西児童公園の遊具が老朽化により使用禁止になっているが、予算等はどのようになっているか。また、トイしが冬期間使用できないので不便である。
- ◆ 通勤時間帯前に除雪してほしい。
- ◆ 石淵と茂内屋布間の踏切が狭い。遮断機を撤去してもらえると幅が広がり、除雪車両もスムーズに通れる。籠谷の踏切も同じである。
- ◆ 道路、ごみステーション等、観光と一体化した整備をしていただきたい。
- ◆ 出雲市を初め各地で死亡手続の簡素化を図るため、お悔やみコーナーを設けて一カ所で手続ができるようにしているが、大館市では導入する予定はあるのか。
- ◆ 美園町・泉町・中神明町の側溝にふたがないところが多い。
- ◆ 扇田地区が廃れてしまわないよう周辺部の人たちが集えるような構想を。
- ◆ 水道ビジョンのパブリックコメントをきちんと集めてほしい。

私もひ・と・こ・と 第38回

いしかわ
石川

あやの
優さん
(餅田)



―市民と市政をつなぐ市議会へ―

市議会の役割は市政のチェックと提案である。人口減と高齢化、限られた予算の中、市民の福祉に資する施策の実現には苦労が絶えないと思う。だからこそ市議会は市民の生活目線に立ち、しっかりと議論して欲しい。施策の効果とともに問題点も市民にわかるようにしてもらいたい。例えば、旧正札竹村ビルの処理、秋田犬の里、二井田工業団地の道路付け替え、JR大館駅舎の新築等が目

を引く。各市議は、それぞれの考えに基づき、事業の検証も含め大いに取り上げてもらいたい。行政と議会のある程度の緊張関係は、より良い市政にとって不可欠であろう。

国政では「モリ、カケ」に続き「桜」が問題になっている。権力者が自分の都合で政治と行政を歪めたのではないかと、多くの人が疑っている。こうした問題は地方自治体、特に小さいところでは起きにくいと思う。住民と政治・行政の距離が格段に近いからである。役所と住民の実際の距離が近いことはとても大切だ。私たちも「選んだら全部おまかせ」ではないけない。公共交通の確保はますます切実になる。市にも「大館市地域公共交通網形成計画」はあるが、特に住民のかかわりが大切になるのではないだろうか。田代地域での住民の主眼的な取り組みに注目

餅田生まれ。東京で中学校理科教師。退職後単身大館へ。実家での一人暮らし3年目。自転車、山歩き、山菜とり等を楽しんでいる。

している。

昨年、若い母親たちが子ども遊び場について要望と提案を行った。議会でも議論され、市長も前向きな対応をしている。一方、私たち普通の市民には専門的知識も情報もあまり無い。市議会もこの点には十分配慮してもらいたい。昨年11月、市の「新水道ビジョン案」の発表と意見公募が行われた。しかし、「案」の発表に気付かなかった人も少なくないと思う。

「私もひ・と・こ・と」のコーナーでは、みなさんからの「なまの声」を募集しています。

議会事務局までご連絡ください。

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどなたでも傍聴できます。

傍聴をご希望される方は、市役所東側（裁判所側）3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、傍聴席に限りがありますので、団体での傍聴ご希望の場合は、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎43-7108（直通）

編集後記

令和元年の締めくくりとなる12月定例会が終わりました。今定例会はいつもあり多い13人の議員の方々が一般質問を行いました。年の最後にふさわしく真剣な質問と、当局からの答弁が展開され、熱を帯びた本会議が連日開催されました。各常任委員会の総括質疑においても熱心な討論が行われて、充実しておりました。

今回の議会だよりで市民の皆様にごの内容が少しでもお伝えできることに感謝しながら筆をおきます。



(小畑 新一 記)